



Ymat Newsletter

2025年 年末号 発行:NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会事務局

今年度の助成金受賞者決定!!!



令和7年6月28日(土曜日)、今年度の助成金最終審査会が、下関市生涯学習プラザ《風のホール》にて、開催されました。一次審査を通過した、さまざまなジャンルの出場者7名が下関に集い、素晴らしいパフォーマンス、プレゼンテーションを繰り広げ、受賞者が決定しました! 奨励賞・牛尾シズエ特別賞・音楽賞・オーディエンス賞の3名とスポンサー賞受賞者の内2名のメッセージをご紹介します♪

また、新春交歓会の様子やシンフォニア岩国でのコンサートの模様なども掲載しております。ぜひご覧ください。

令和7年度 助成金受賞者のメッセージ♪



奨励賞・音楽賞 鳴谷 茉佑子

音楽(ピアノ)

東京藝術大学卒業

現在、英国王立音楽院修士課程に在学中

この9月から英国王立音楽院の修士課程で留学生生活をスタートしました。さまざまな国から来た色々な背景を持つ仲間たちと共に過ごす毎日はとても刺激的で、積極的に動く学生にはチャンスを与えてくれる校風にも助けられています。10月には学内のベートーヴェンコンクールに挑戦し、入賞することができました。

今はベートーヴェンのピアノトリオ《大公》と協奏曲第5番《皇帝》という大曲を中心に、自分の音楽性をより大きくするために真正面から音楽と向き合っています。トリオでは、音を通じてそれぞれが求めている表現を一つの音楽にしていくな作業がとても楽しく、また素直にお互いを褒めあえるメンバーにも支えられ、励ましにもなっています。

《皇帝》は本当に壮大で、時にロッククライミングをしているような難しさを感じるほどですが、コリン・ストーン教授のご指導のおかげで一歩ずつ丁寧に取り組んでいるところです。

教授は「ただ美しく、ただ音楽をするだけだ」といつもおっしゃっています。この言葉は私が現在音楽をする上での大きな目標となり、ひたすらにそういった演奏ができるように求め続けた最初の留学の3ヶ月でしたが、一瞬でもそれができた瞬間の音は格別美しく、喜びも大きいです。

これからの演奏機会で、みなさまに良い音楽をお届けできるよう、日々の経験を大切にしながら、音楽家として、人として、さらに磨いていきたいと思っています。



牛尾シズエ特別賞 吉村 美智子

音楽(ヴァイオリン)

桐朋学園大学大学院修士課程修了

この度第16回オーディションにて、牛尾シズエ特別賞を賜りました、ヴァイオリンの吉村美智子です。オーディションにて、真摯に耳を傾けてくださった審査員の先生方、舞台裏で支えてくださった関係者・スタッフの皆様、そしてあたたかい拍手と共に演奏を聴いてくださった会場の皆様へ、改めて感謝を申し上げます。

今まで演奏会や帰省のために何度も山口県を訪れておりましたが、下関市での「演奏」は審査会がはじめてのことでした。当日はあたたかい雰囲気の皆様が演奏を聴いてくださり、演奏後もたくさんの感想を頂いたことを、今でも思い出しております。改めて自分自身と向き合うことができ、音楽を届ける理由と、音楽を通して出来る人々と社会の繋がりについても考え直す貴重な機会となりました。

今年の夏にはイタリアでの講習会で、現地のオーケストラと共演する機会を頂きました。また、来年2月23日には、鎌倉芸術館にて横浜みなととみなみ管弦楽団の皆様ともご一緒させていただく予定です。

今までの経験を糧に、音楽面はもちろん、人間性においてもより成長できるよう、引き続き研鑽を重ねたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



オーディエンス賞 スポンサー賞

宮迫 希

音楽(フルート)

沖縄県立芸術大学卒業

第16回若い芽オーディションでは、貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

当日はオーディエンス賞まで頂き、会場の皆さまの投票で応援していただけたことが何より嬉しく、大きな励みになりました。自分の言葉で音楽への思いを伝えられたことは、私にとって大切な経験となりました。

地元である下関に、このような素晴らしい場があることを改めて誇りに感じました。そして、その舞台に立たせていただけたことを心から感謝しています。現在は、次のコンクールに向けて日々練習に取り組んでいます。

音楽に向き合う気持ちはずっと変わらず、一歩ずつ成長していきたいと思っています。

そしてこれからも、地元の下関で演奏できる機会を大切にしながら活動を続けていきたいです。

私なりの形で音楽を届けていけるよう、今後も努力していきます。



スポンサー賞: 藤原 収望【美術(油絵)】

オーディションで最も印象に残っているのは、終演後に一人の女性が涙を流しながら手を握ってくださった瞬間です。その出来事を通して、「伝えたい想いは必ず誰かに届く」と実感しました。これまで多くの困難や葛藤を経験してきましたが、悔しさや苦しみをも包み込み、抱きしめてくれるのが芸術だと改めて感じました。自分を信じ切れなかった時期に、作品を見てくれた誰かのおかげで「あなたはあなたのままでいい」と信じられるようになりました。これからも精進してまいります。今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



スポンサー賞: 出会 ユキ【音楽(笙)】

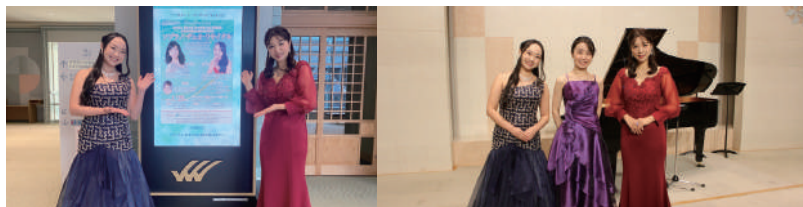
山口県、若い芽を育てる会のコンクールの思い出は今でも心の中で生きています。コンクールでは、スポンサー賞を受賞できたこと光栄に思っております。その経験を糧にして次なる階段へと昇っていきたくと思っています。

それは、オーケストラと一緒に奏でる笙協奏曲です。まだまだ若輩者ですが、一音一音心を込めて演奏できるように体の使い方などに意識を向けて練習を積み重ねています。

この他に長谷由香さん【音楽(箏曲)】と有吉琴美さん【音楽(声楽・ソプラノ)】もスポンサー賞を受賞されました♪

Soprano Duo Recital in Iwakuni! ソプラノ・デュオ・リサイタルが開催されました!

2025年1月25日(土曜日)シンフォニア岩国ミュージズホールにて昨年度の牛尾シズエ特別賞を受賞された富永果捺子さんと宮川七海さんによるソプラノ・デュオ・リサイタルが開催されました♪



出演したお二人からのメッセージが届いています♪

◆お客さまのあたたかい拍手に包まれ、歌をはじめたきっかけや作品の聴きどころについてのトークも含めた和やかなコンサートとなりました。同じ声種同士でコンサートをすることは珍しいことですが、それぞれの声の響きを楽しんでいただけるようなプログラムを考えました。これからも新しい土地での一期一会を楽しみに、大切にしていけたらと思いました。この度は本当にありがとうございました。(富永 果捺子)

◆オーディションを機に、尊敬する富永さんや、シンフォニア岩国という素晴らしいホール、そして温かい皆様と出会えたことに心より感謝申し上げます。素敵な環境と皆様の支えのもと、歌曲もアリアも存分に表現させていただきました。この経験を励みに、より社会に貢献できる歌手を目指してまいります。(宮川 七海)

ご来場いただいたお客様からの声をご紹介します♪

◆普段ソプラノ・デュオを聴くことは少ないのですが、牛尾シズエ賞を受賞されたお二人“富永果捺子様、宮川七海様”の歌声が澄んでいて、とても心地良かったです。

◆お二人のソプラノ特に日本語の歌曲に感動致しました。若い方達が頑張っておられる姿は心を打ちます。

◆若い芽の最終審査会で受賞されたお2人が、親交を深め紡がれた感謝の思いがいっぱいのコンサートで、会場は心なごむ優しい歌声に包まれ、ご来場の皆様も笑顔で拍手が鳴りやみませんでした。これから夢に向かって歩まれるお2人も、この会で出会える人達も、私自身元気をもらったり、楽しませてもらったりしながら応援していきたいと思います。

Two pianos Duo Concert! 【新春交歓会2025】2台ピアノデュオ・コンサートを開催!

2025年3月7日、NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会(以下若い芽)の新春交歓会として開催された矢野雄太×三原有紀2台ピアノによるデュオ・コンサートを鑑賞した。

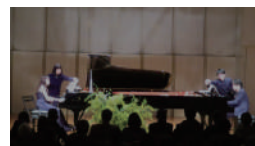
2台ピアノによるコンサートは、その企画自体かなりハードルが高いらしく、それを聴く機会は決して多くない。その上、矢野さんは2015年若い芽の助成金奨励賞を始め、数々の受賞歴がある方、三原さんもイタリアで活躍され、多くの受賞歴を誇る方。そんな新進気鋭のお二人の演奏とあって、会場は、開演前から期待感に満ちていた。

コンサートは、モーツァルト:2台のピアノのためのソナタ作品448第一楽章を皮切りに、矢野さんの軽妙なトークを挟みながら進められた。中でも私の印象に残ったのが、ルトスワフスキ:パガニーニの主題による変奏曲。時に寄り添い、時に各々の個性を主張して対峙しつつ、互いにリスペクトを持って、2台のピアノの音が溶け合い昇華していく。日頃のお二人の関係性を彷彿とさせる、素晴らしい演奏であった。

コンサート終了後は、主役のお二人を交えての懇親会。軽食とワインを片手に、楽しい時間を過ごした。お二人は、長丁場の演奏でお疲れにも拘らず、始終にこやかに参加者に対応しておられ、お人柄が偲ばれた。

今回の企画を実現された、理事長水内知子先生始め、若い芽の執行部並びに事務局の皆さんに、深く感謝し、心から敬意を表します。

若い芽サポート会員:奥園 美子



令和6年度 事業会計活動計算書(令和6年4月1日～令和7年3月31日)							
科目	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合計	科目	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合計
I 経常収益の部				II 経常費用の部			
1. 受取会費(年会費)	1,817,500		1,817,500	1. 事業費			
2. 受取寄付金	827,000	0	827,000	(1)人件費	0	0	0
3. 受取助成金(民間助成金)	0	0	0	(2)その他経費	2,292,231	657,644	2,949,875
4. 事業収益				2. 管理費			
各文化団体との連携活動事業収益	264,900	0	264,900	(1)人件費	0	0	0
文化活動の主催や後援事業収益	0	0	0	(2)その他経費	1,092,824	0	1,092,824
会員の交流イベント事業収益	0	618,000	618,000	経常費用合計	3,385,055	657,644	4,042,699
5. その他収益				当期経常増減額	-475,111	-39,644	-514,755
受取利息	544	0	544	III 経常外収益	0	0	0
経常収益合計	2,909,944	618,000	3,527,944	IV 経常外費用	0	0	0
				経理区分振替額	0	0	0
				当期正味財産増減額	-475,111	-39,644	-514,755
				前期繰越正味財産額	2,382,790	-54,102	2,328,688
				次期繰越正味財産額	1,907,679	-93,746	1,813,933

Message from Yukari Tashiro メッセージ: 田代 ゆかりさん(21年度スポンサー賞/版画家)

私、田代ゆかりは、2021年に「NPO法人 芸術・文化若い芽を育てる会」の助成金オーディション最終審査会でスポンサー賞を受賞しました。同オーディションでは、版画作品を発表しました。私は勤務校である中学校・高校で版画授業を行うため、教材の開発を進めてきました。その過程で、独自の版画技法を考案しました。作品のモチーフとして夜景を選んだきっかけは、失恋した知人が「彼女の家の近くのインターを通り過ぎるだけでつらい」と語ったことによります。その言葉から、思い出や感情が異なれば、同じ景色であっても捉え方が変わることに気づきました。夜景は場所ごとに特徴が異なる一方で共通する要素も多く、記憶や感情を重ねて見ることができる普遍的なテーマであると考えています。

現在、私はこの技法を生かし、作品の制作・発表を続けています。また、福岡教育大学、九州産業大学、九州産業大学造形短期大学部、21世紀アカデミア専門学校福岡デザイナー・アカデミー(2025年現在)において非常勤講師として、美術教育に携わっています。2025年の作品発表では、JINEN GALLERY(東京・日本橋)で個展を開催し、時津画廊主催による岩田屋三越美術画廊(福岡)および、一般社団法人 日本版画協会 第92回版画展 B部門奨励賞受賞記念として松坂屋本館第一画廊(名古屋)で特集を組んでいただきました。

私が助成金オーディション最終審査会に参加した当時は、コロナ禍で多くの制約がある中での発表でした。事前に運営担当者とメールをやり取りする中で、参加者への温かな思いを感じ、深く感動しました。作品を壇上で発表することや、音楽分野の方々と同じ舞台上で発表することは初めての経験であり、大変緊張したことを覚えています。また、この発表を通じて、絵画、とりわけ版画の見せ方や伝え方を改めて考える機会となりました。私にとって最も嬉しかったことは、活動を応援して下さる心強い方々と出会い、現在もご支援をいただいていることです。

その後、会の志に深く感銘を受け、主催コンサートや助成金オーディション最終審査会を鑑賞する機会が増えました。また、城下町長府の美しさに触れる機会にも恵まれ、「螢遊苑 長府製作所記念館」で2019年から2025年に制作した版画作品約25点を展示しました。オーディション以降の成長をご覧いただいたかったため、長府で展示できたことを大変嬉しく思いました。オーディション以降は、車内や機内からの風景や、フェンス越しに見える夜景などを主題とした作品を制作してきました。風景の前に対象物を配置することで前後関係を明確にし、鑑賞者が制作者の視点を共有できると考えています。今回の「螢遊苑 長府製作所記念館」での田代ゆかり展には、多くの会員の皆様に足を運んでいただき、さまざまな感想を頂戴しました。私の作品にそれぞれの思いを重ねて鑑賞していただければ幸いです。宣伝にご協力いただいたことは、私にとって、人との向き合い方を学ぶ貴重な経験となりました。

最後に、私の制作の原動力となった気づきについて述べます。助成金オーディション最終審査会の際、深夜に送った私のメールに水内会長からすぐに返信をいただき、人の力で支えられていることを実感しました。また、主催コンサートや最終審査会を鑑賞する中で、会長が地域への文化・芸術還元に関心を持って取り組まれていることに触れ、深く感銘を受けました。これらの経験を通じて、制作や教育に携わる者として、私もその力の一端を担いたいと考えようになりました。さらに、鑑賞者の感想からも多くの気づきを得ています。

「隅田川の近くにあるホテルに泊まったときに見た景色を思い出した」「小さいころの祖父母の家から自宅に帰るときの景色に似ている」「病気になったが、夢でもよいので旅に出たい」

こうした経験によって変化する感想に触れ、人の思いの深さを実感し制作の原動力としています。

道具の高騰や版画授業の減少など、私の学生時代と比べて大きく変化した現状の中で、このように制作環境と発表の機会を与えてくださる皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも努力を重ねてまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。



2026年10月30日~11月8日に
螢遊苑にて、田代雄一さんと共
に2人展が開催されます。
ぜひ皆様、足をお運びください♪

♪会員募集(若い芸術家を育てる支援の輪に参加していただだけませんか)♪

若い芽を育てる会は、個人・法人会員を募集しております。いつでも入会できますので、ご家族や友達などお誘いあわせのうえ、ご入会くださいませう、お願い申し上げます。なお、詳細につきましては、下記事務局にお問い合わせください。



NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会 事務局

〒752-0966 山口県下関市長府亀の甲1-2-1

電話(携帯) 080-5626-2010 ホームページ <http://ymat2010.org/>



ホームページ FBページ X(旧Twitter) Instagram